

<改訂版> 現場を巻き込み、監査の実効性を高める

実践的『監査コミュニケーション技法』マスター講座

日時 2026年6月18日(木) 10:00~17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲 氏
公益監査機構 事務総長



お申込ページはこちら

対象 監査役、内部監査部門、リスク管理部門、総務部門、内部統制部門、
コンプライアンス・CSR部門、監査法人、監査系コンサルタント、ISO部門など

開催にあたって

監査にあたる方、内部統制・リスク管理などの推進担当として仕事をされている方などにとって、現場の方からその重要性や意義を理解されずに反発されたり支障が生じたりするのは、とても辛いことですし監査の実効性にも影響を与えます。現場を巻き込み、腑に落ちる指摘や指導を通じて現場の参画意識を高めながら進めなければ、現場での自主的・主体的な変革意識は生まれません。そのためには、相手が納得する監査やリスク管理対策などを、より円滑で相手に寄り添うコミュニケーションを通じて対応することが大切です。

そこで、本講座では監査・内部統制・リスク管理などの実践現場において不可欠となるスキル・ノウハウとして「監査におけるコミュニケーション・リスク」の具体的な対応策をお届け致します。実効性ある監査へ向けた「監査コミュニケーション技法」について、多くの方々のお悩みや実例を踏まえて解説いたします。

学習指標

- ① 監査・内部統制の実効性向上のポイントを押さえた監査活動へのヒントを習得する
- ② 「寄り添う監査」で真相・心理・真実にアクセスする「相手の心の扉」の開き方を習得する
- ③ 難しく賢そうに見せかける監査からソフトに「噛み砕いて本質を押さえる監査」に転換する

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇ 日本経営協会会員 (1名) : 34,100円 (税込)
- ◇ 一般 (1名) : 41,800円 (税込)

■キャンセルについて

会場参加：開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%を申し受けます。

オンライン参加：開催日の5営業日前～当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。

■オンライン参加について

- ・セミナーの録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また、自ら又は第三者を通じて、セミナー動画およびテキスト・資料の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権、知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。
- ・本セミナーにお申込み登録をいただいていない方のご受講は固くお断りしております。

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

■受講お申込み方法

★2026年度からのNOMAセミナー申込が変わります！
※研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入！

★セミナー申込までの流れ

- 1 本会HP (noma.or.jp/)、またはmanaableのNOMA専用サイト (noma.manaable.com/) にアクセス
- 2 ご希望のセミナーを検索
- 3 manaableから「セミナー申込」
※初回の方は「ご担当者登録」「企業・団体登録」の後にお申込みの流れとなります。
- 4 お申込み後、manaableサイト内で申込状況等の確認が可能
※本会にて申込内容を確認 (通常、0~2営業日内) 後、ステータスが「承認」となり受講確定となります。
※ZoomURL等、受講に必要な情報もmanaable上でご確認いただけます。
※受付確認メール、参加券、また請求書の紙面発行はなくなりました。
※請求書、領収書は、manaableサイト内からPDFダウンロードいただけます。

「内部統制・リスク管理がなぜ現場に嫌われるのか」という疑問や悩みに対応!

プログラム内容

1. なぜ監査が現場から嫌われるのか

～問題を指摘するだけの「検査」で終わっていないか～

- “経営に資する監査”という監査人の陥りがちなワナ
～多くの監査人が監査における自己矛盾を犯してしまうポイントを解説!
- 日本版COSOモデルを噛み砕いて指導できているか?
～戸村式のわかりやすいCOSOモデル解説を監査指導に活かす!
- 今の監査・リスク管理・内部統制にあるP D C Aの欠落とは
～課題を指摘する「検査」だけにとどまっていないか
- 明るい監査・リスク管理に向けた「内部統制リテラシー」とは
～現場との簡単な共通言語を根付かせることから
- 隠れた実態を知り、「現場と共に解決策探し」する対応策
～現場目線で取り組む組織の問診、触診、CTスキャン
- 内部統制は「内部自治」であるということ
～健全に収益を上げ続けるしくみ・プロセスの構築のために

など

2. いま求められる、監査コミュニケーション技法

～「課題解決への監査」の現場実践に向けて～

- 監査人に必須の「懐疑心」と陥りがちな監査対応のワナ
- 面接調査技法①～⑤&番外編

①事実確認と証人集めのための流儀

②不正の兆候を見抜く監査コミュニケーションのコツ
＜これらのほか、番外編を含め5例をご紹介します＞

- 指導時の会話で相手を尊重する監査対応①～⑤

①相手を尊重する指導にする会話のニュアンス

＜このほか、4例のワザとコツをご紹介します＞

- コーチング型監査(CBA)の寄り添う監査に向けた3ステップ
- 相手の反応を知るための5つのパターン
- 課題解決に向けた説得の3パターン

- 非言語コミュニケーションで見抜く監査対応
- 監査人やリスク管理者に必要なスキルや素養
- IT監査技法による時間節約でココロに向き合う時間をなど

3. 内部統制の有効性を高める監査コミュニケーション

～現場を巻き込む「明るい監査」の確立に向けて～

- 明るい監査に向けた基本姿勢と流儀①～⑤

①現場社員の身の潔白を代わって証明するということ

②潔白を証明するためのチェックであるという姿勢

＜これらのほか、秘伝の3例をご紹介します＞

- 現場立ち入りへの抵抗感をなくす工夫
- 内部通報への真摯で安心感を与える対応
- C S A (コントロール・セルフ・アセスメント)による現場を巻き込む対応と陥りがちなワナ&留意点
- 明日から使える監査ファシリテーションの「7つ道具」
- 改正法や時事問題にからむ監査上の要点・注意点・対応策

など

4. 質疑応答・まとめ

- 講義当日のご質問はzoomのチャット機能もしくはビデオ/マイクONでのオンライン対話でも承ります。
- 本講座のご受講者に限り、講師の厚意の範囲で後日もQ&A対応が可能です。

※時間の制約などで全てにはお応えできないこともございます。

※チャット機能は講義開始から随時開放しておりますが、講師からの回答は講義の状況にあわせて回答させていただきますので、こちらも併せてご了承ください。

※最新動向や各種社会状況などに応じて、プログラムや項目等をアップデート・変更させて頂く場合がございます。

※出張研修も承っております。表面のお問合へご連絡ください。

講師プロフィール

早稲田大学卒。米国MBA修了(全米トップ0.5%のみ授与される優秀大学院生受賞)。米国博士後期課程(Ph.D)中退。国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダーなどESG・サステナビリティ関連を担当。民間企業役員レベルで監査統括・人事総務統括など、上場IT企業JFEシステムズ(株)アドバイザー、経営行動科学学会理事、JA長野中央会顧問、岡山大学大学院非常勤講師などを歴任。

監査法人の代表社員をはじめ、公認会計士や弁護士、大手コンサルタントなどの専門家を指導する講師としても登壇。NHK「クローズアップ現代」TV出演・番組監修、テレビ朝日「そうだったのか!池上彰の学べるニュース」番組監修、日テレ日曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」航空監修・ドラマ出演などをはじめ、TV・ラジオ・新聞・雑誌などでのコメンテーターや解説者等での出演・寄稿・連載多数。

経営指導・講演・メディア活動の3つの柱で活動し、全国各地にて年間120講演程度。指導先は上場最大手企業から中堅中小企業、金融機関、商社、医療福祉機関、農協、自治体、首長、議員、学校法人など、経営陣から各階層まで幅広く担当。幅広い活動分野で資格も多数保有。

コーポレート・ガバナンス・アワード大賞選考委員長、日本取締役協会会員、日本内部統制研究学会正会員など産学ともに活動中。現在の著書34冊。代表作に『クリエイティブ監査への道:「経営に資する監査」の再考と再興(税務経理協会)』、『企業統治の退廃と甦生』(中央経済社)など。日本の人気講師ランキング3位。

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公益監査機構 事務総長

とむら ともりの
戸村 智憲 氏



講師プロフィール詳細

メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。ご興味のある方はぜひご登録をお願いします。

登録はこちら→



メールマガジン登録用QR

★研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入!

お申込みや事務処理の迅速化、ペーパーレス化を目的として、お客様自身で管理できる研修管理システム(マナブル)を導入いたしました。

詳細はこちら→

